いわて保育園看護職研修会

責任者：相墨生恵　共同者：菊池陽子，澤口宏美，袖林典子，石田真紀子，高橋貴子，小泉湧，岩渕光子

令和６年度岩手県立大学看護実践研究センター事業

・活動の概要

保育園で働く看護職を対象に、①小児にかかわる専門職者としての知識と技術のスキルアップ②保育園看護職のネットワークの構築③保育園看護職者が主体的に活動できるようになること、を目的として2度の研修会を開催した。

・活動の成果

「保育園で働く看護職に必要な技術と知識の習得を目的とした講義」「研修内容を実践につなげることを目的とした実践報告」「ネットワークの構築を主目的としたグループワーク」で構成し、成果を得た。

- 研修会の様子と研修会を続けて見えてきたこと

一人職のことが多く、同じ職種同士での交流の機会が少ない保育園看護職者にとっては、自分たちの日々の活動や不安や不満や喜びを伝えあうことで、課題解決や日々の活力、仕事へのモチベーションにつながることがある。

研修の場は新しい知識の習得も重要であるが、それと同等に、交流や情報交換の場としての役割も大きい。日々の様子を伝えあうことで、自分の行動は「間違っていない」と確認できる場は、一人職である専門職にとってとても重要である。

HP